

共通仕様 1 設計図書に記載されてない事項は、以下のとおりとする。 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書（最新年度版）」 「公共建築改修工事標準仕様書（最新年度版）」 「公共建築設備工事標準図（最新年度版）」 電気設備工事・機械設備工事及び建築工事の各々対応するものとする。 土木工事 甲府市「土木工事共通仕様書」（最新年度版）及びこれに基づく山梨県土木部監修「建設工事必携」 下水道工事 日本下水道事業団「機械設備工事一般仕様書（最新年度版）」及び「電気設備工事一般仕様書（最新年度版）」 2 法令等の遵守 本工事に当り、次に示す各種法令等を遵守して施工すること。 (1)道路交通法 (2)労働基準法 (3)労働安全衛生法 (4)その他関係法令・規則等 また、「甲府市暴力団排除条例施行に伴う、公共工事からの暴力団排除」を目的として、受注者が下請負者を用いる場合は、末端の下請負者まで反映させた次に示す書類を提出すること。 (1)下請施工（再委託）体系図 (2)施工体制台帳（様式16・17） 3 建設副産物の処理 工事の施工により発生する建設廃棄物は、廃棄物処理法に基づき当該廃棄物の処分業の許可を取得している施設で適正に処理すること。産業廃棄物管理表（マニフェスト）等により適正に処理し、監督員にその写しを提出すること。また本工事は、建設副産物実態調査の対象工事であり、請負者は国土交通省のホームページ（計画書・実施書）（EXCEL様式）」の最新バージョンをダウンロードし、作成出力した再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書を出力し、施工計画書に添付し監督員に提出するものとする。（以前より使用していたクレダスを使用した様式での提出はH30センサスに対応していないため不可） 工事完了後は速やかに、当初入力した工事データを実績値に修正した再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書を出力し、1部（紙）を完成書類に添付し、また、電子データを電子媒体（CD、DVD等）により監督員に提出するものとする。なお、入力した工事データは自社で1年間保管するものとする。 ※入力時の最新版を国土交通省のホームページからダウンロードして入手すること。 URL http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/recycle/d03project/d0306/page_03060101credas1top.htm 受注者は、法令等に基づき再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書を工事現場の公衆が見やすい場所に掲げなければならない。			一般事項 ・本設計書は、工事の概要を示すものであり施工者は、現場着工前に十分なる調査と理解の上、速やかに実施工程表及び施工図面・工事施工計画書を作成し、監督員の承諾を受けて工事を施工すること。 ・本工事に際しては、処理場業務に支障なきよう施工し、安全管理・騒音・振動等には十分気をつけること。 ・工事進捗状況に応じ疑義が生じた場合及び細部不明の際は、速やかに監督員と協議しその指示により施工するものとする。 ・本工事において、図面・特記仕様書に疑義が生じた場合及び、それに明記なきものでも技術上・構造上・美観上当然必要なものは監督員と協議の上、誠実かつ良心的に施工するものとする。なお、その費用は請負者負担とする。 ・設計図寸法はあくまでも参考とし、必ず現地調査を行い製作・施工するものとする。		
			特記事項 ・施工前に監督員及び維持管理業者と協議の上、施工日程等を決定すること。 ・本工事は、週休2日制適用工事として、月単位の週休2日により取り組むことを標準とし、さらに、質の向上を図る完全週休2日(土日)に取り組むことができる。週休2日制の取組については、施工計画書により提出すること。取り扱いについては、令和8年5月15日から適用する「週休2日制適用工事実施要綱」による。		
			・工事終了後は清掃を必ず行い、補修が必要な場合は監督員と協議の上、良心的に行うこと。 なお、その費用は請負者負担とする。		
			工事内容 ・No.1破砕ポンプ更新 1台 ・上記に伴う基礎はつり工事及び穴部分の復旧工事 ・No.1・No.2破砕ポンプ用現場操作盤更新 1面 ・試運転確認		
			破砕ポンプ仕様 参考型番：KDA300-TS （既設型番：HD12） 型式：横形 口径：吸込 φ300mm 破砕量：2.0m3/min 全揚程：9.5m 取扱流体：汚泥 電動機：30kW、屋外全閉防まつ形、連続定格 電源：400V×50Hz×3φ 主要部材質 コモンベース：FC200又はSS400 ケーシング：FC200以上 軸：S45C(相当)以上又はSUS304 加圧羽根車：FC200 破砕部品：SC450＋ステライト肉盛相当 保護装置 封水継電器(注水仕様の場合) 塗装：日本下水道事業団仕様 付属品 コモンベース 1個 基礎ボルト・ナット 1式 グラントパッキン 1台分 カップリング カップリングカバー ベース 操作方式 中央監視(自動・単独)及び現場 自動運転 起動指令：汚泥ピットレベル低 起動条件：保護継電器不動作 構造 破砕部分は摩擦等の少ないもので、長期の使用に十分耐える材質・構造とする。 回転刃と固定刃のクリアランスは外部より容易に調整できるものとする。 破砕ポンプの破砕用の回転刃及び固定刃等の収納されている部分は密閉構造とする。 また外部から注水することにより、洗浄排水できるものとし、刃先は耐摩擦性のある材質を肉盛りするものとする。		

	工務部 下水道管理室 浄化センター		縮 尺 S=NON	工事名称 甲府市浄化センター脱水機棟No.1破砕ポンプ更新工事	M01
	担当 有泉	設計年月 令和8年7月	図面名称 共通・特記仕様書		

破砕ポンプ現場操作盤仕様 形式：屋内スタンド形 主要部材質：銅板製 (SS) 概略寸法：設計図書を参考とし、承諾図にて決定する。 用途：No.1破砕ポンプ・No.2破砕ポンプ現場操作盤 構成 名称板 1式 集合表示灯 (8窓) 1式 運転表示灯 (停止/運転) 2個 電流指示計 2個 切替スイッチ (現場/中央) 1個 切替スイッチ (No.1/No.2) 1個 故障表示灯 (2窓) 2個 操作スイッチ (停止/運転) 2個 押釦スイッチ 2個 端子台 1式 その他必要なもの 1式 その他 ・配管内の汚水、汚泥を抜く際は、必ず養生をすること。 ・工場において清水により性能試験を行うこと。 ・撤去する既設ポンプに関わる不要部品についても撤去を行うこと。						
	工務部 下水道管理室 浄化センター		縮 尺 S=NON 担当 有泉	設計年月 令和8年7月	工事名称 甲府市浄化センター脱水機棟No.1破砕ポンプ更新工事 図面名称 共通・特記仕様書	M02 No.

アイメッセ山梨

甲府市浄化センター

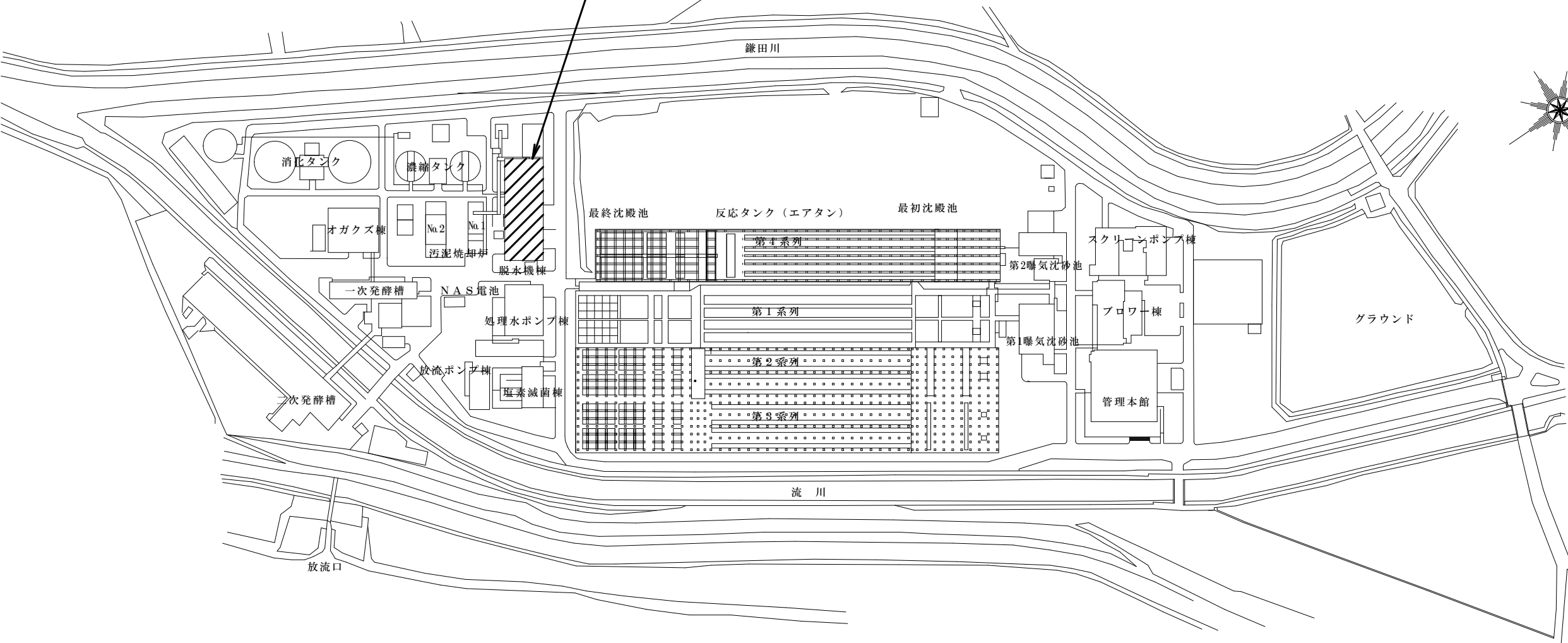


甲府南IC

案内図

S=NON

施工箇所



浄化センター平面図

S=NON

工務部 下水道管理室 浄化センター

縮尺

S=NON

設計年月

令和8年7月

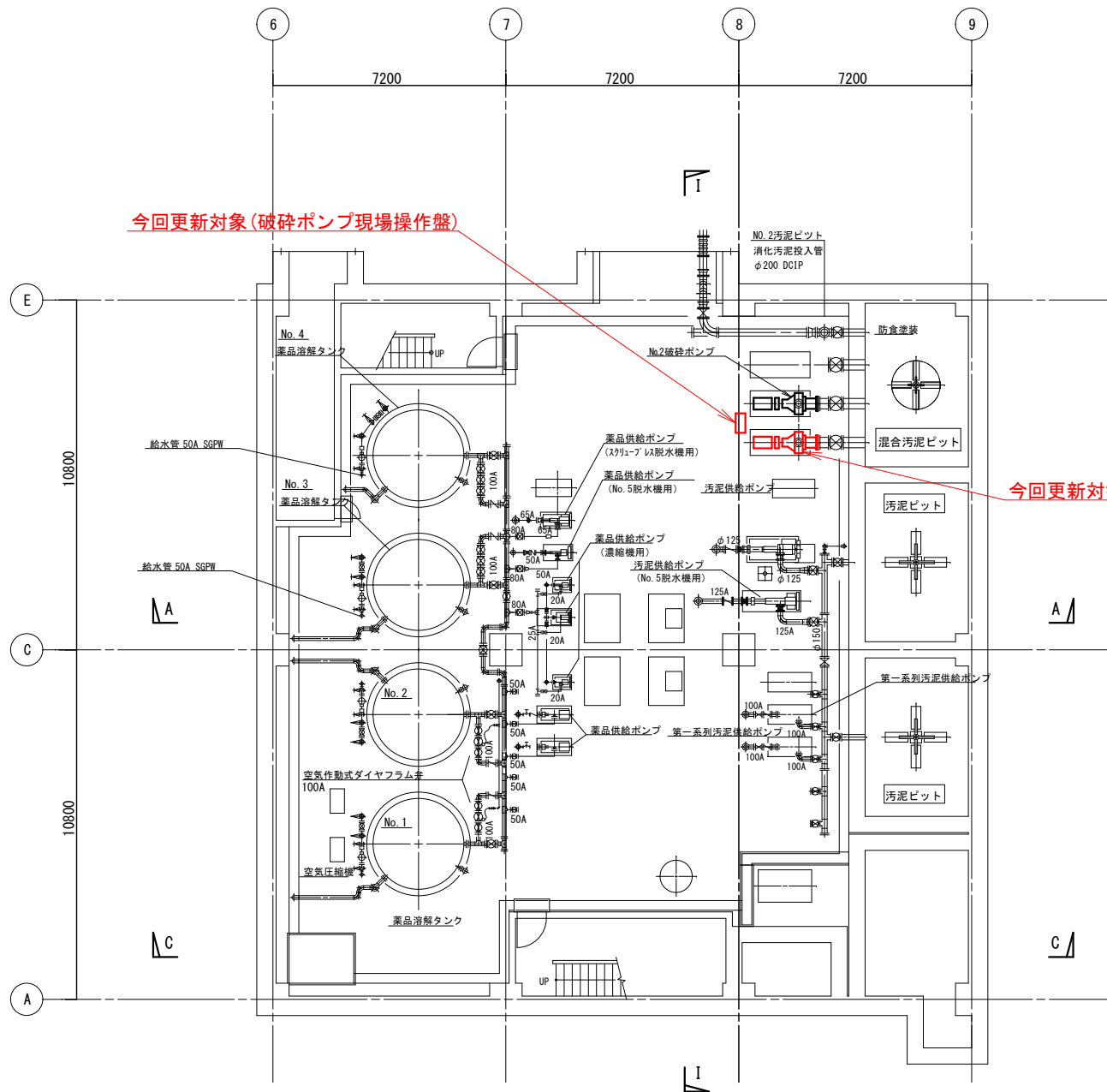
工事名称 甲府市浄化センター脱水機棟No.1破砕ポンプ更新工事

図面名称 案内図・浄化センター平面図

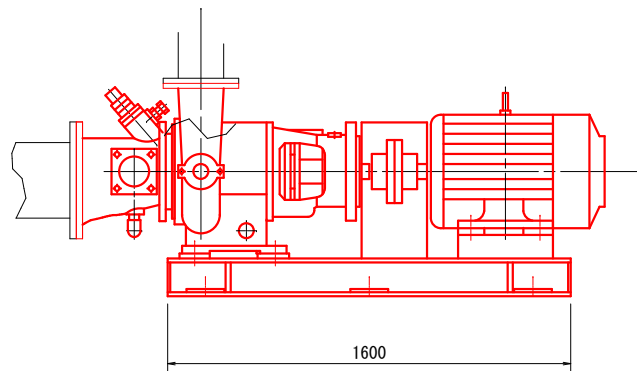
M03

No.

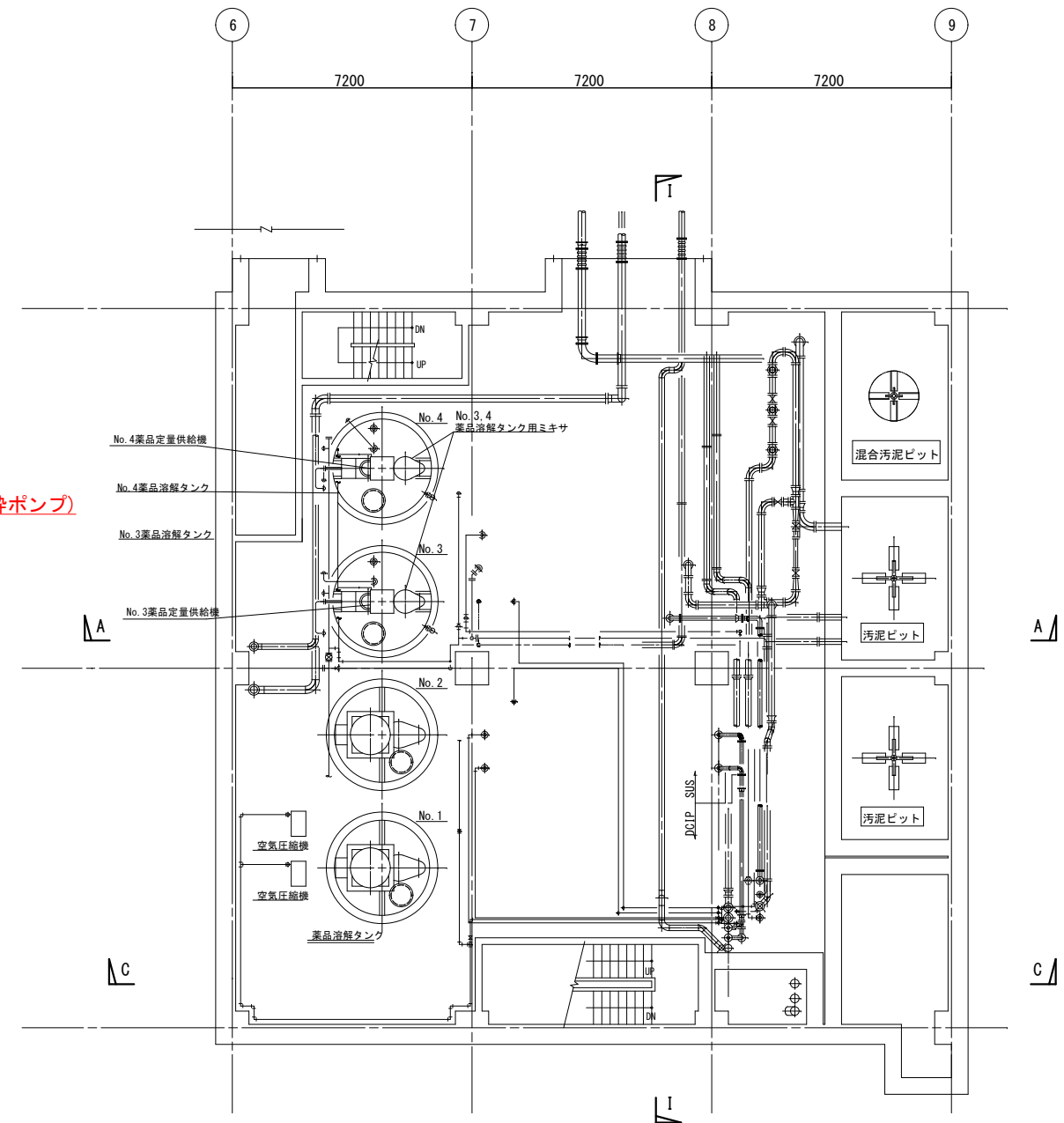
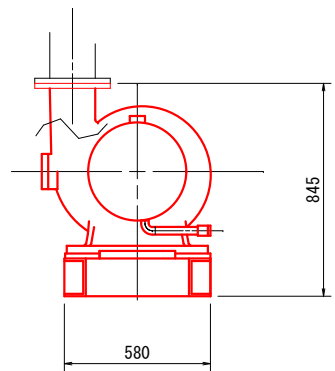
破 碎 ポ ン プ 仕 様
参考型番：KDA300-TS
既設型番：HD12
型式：横形
口径：吸込 φ300mm
破碎量：2.0m³/min
全揚程：9.5m
取扱流体：汚泥
電動機：30kW、屋外全閉防まつ形、連続定格
電源：400V×50Hz×3φ
主要部材質
 コモンベース：FC200又はSS400
 ケーシング：FC200以上
 軸：S45C(相当)以上又はSUS304
 加圧羽根車：FC200
 破碎部品：SC450+ステライト肉盛相当
保護装置
 封水継電器(注水仕様の場合)
塗装：日本下水道事業団仕様
付属品
 コモンベース 1個
 基礎ボルト・ナット 1式
 グランドパッキン 1台分
 カップリング
 カップリングカバー
 ベース



地下1階 ポンプ室下部平面図 (参考) S=1/100

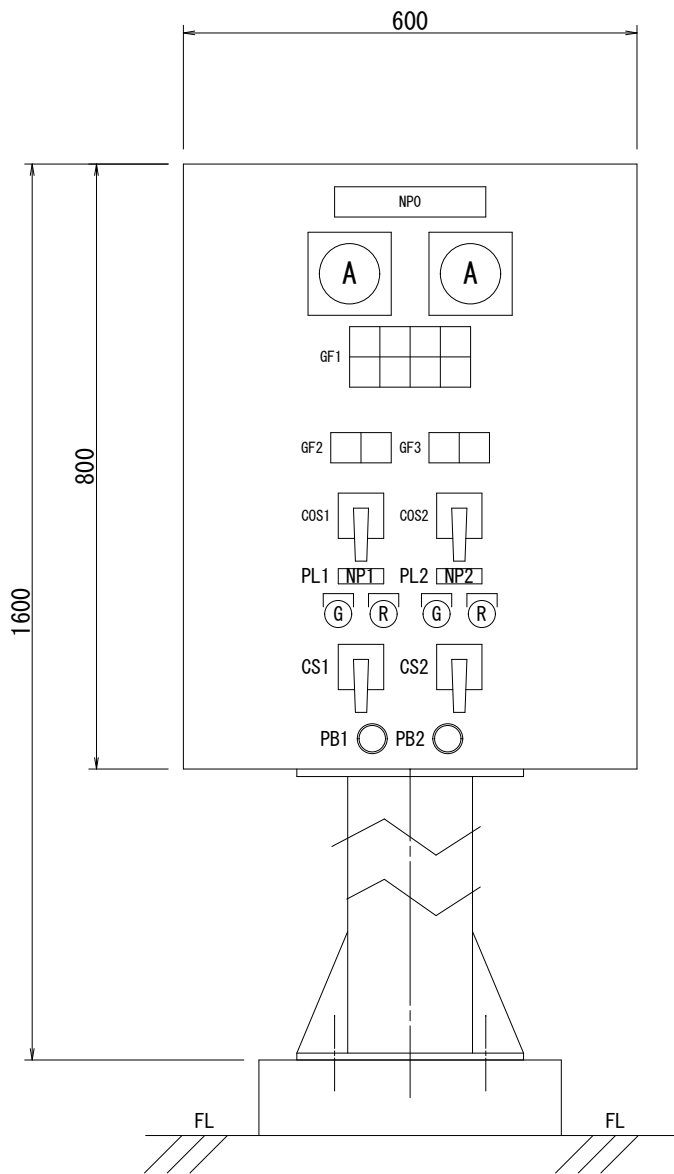


汚泥破碎ポンプ外形図 (参考) S=1/15

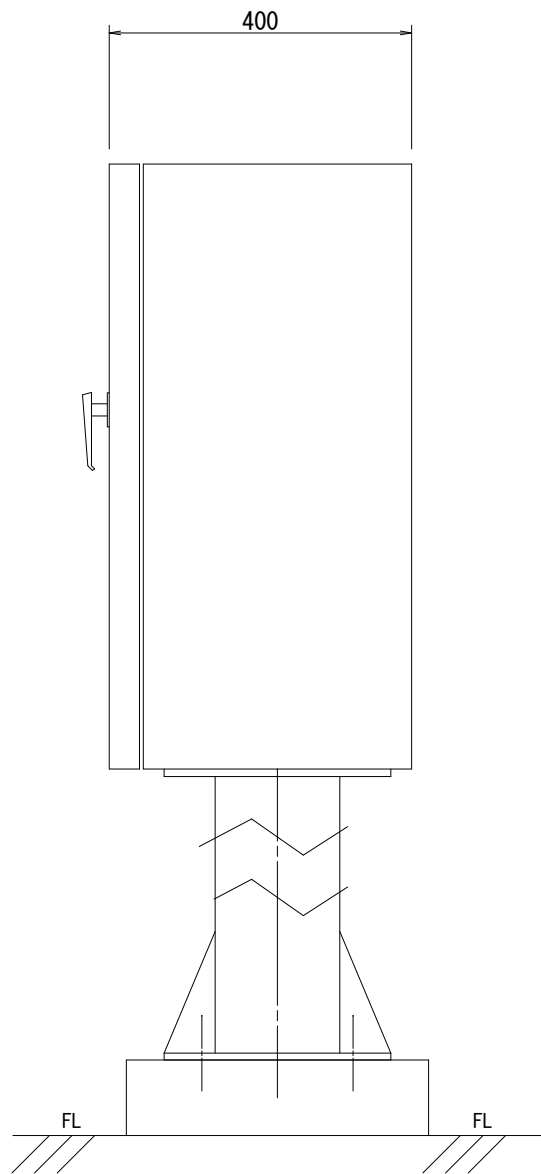


地下1階 ポンプ室上部平面図 (参考) S=1/100

注記
・基礎、アンカーは再利用とする
・ポンプ撤去据付時に化粧モルタルが剥がれた部分については、補修すること



正面図



側面図

スイッチ一覧表

記 号	備 考
COS1	切換スイッチ（現場－中央）
COS2	切換スイッチ（No. 1－No. 2）
CS1	操作スイッチ（停止－運転）
CS2	操作スイッチ（停止－運転）
PL1, 2	表示灯（停止、運転）
PB1	押釦スイッチ（LT）
PB2	押釦スイッチ（故障復帰）

記入文字

NPNo.	記入文字
A	電流計
NP0	破砕ポンプ現場操作盤
NP1	No. 1
NP2	No. 2

GF1記入文字（CSN）

フィルター色：（O）橙、（W）白

No. 1 汚泥ビット水位 異常高	No. 2 汚泥ビット水位 異常高	汚泥混合 ビット 異常高	
O	O	O	W
No. 1 汚泥ビット水位 異常低	No. 2 汚泥ビット水位 異常低	汚泥混合 ビット 異常低	
O	O	O	W

GF2, 3記入文字（CSN）

フィルター色：（O）橙、（W）白

過負荷	封水断
O	O

注記）

- すべて今回更新を示す。
- 盤寸法は参考とし承諾図にて決定する。
- 基礎、アンカーは再利用とする。
- 現場操作盤撤去据付時に化粧モルタルが剥がれた部分については、補修すること。